

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)りんくう出島医療センター	階数	地上6F
建設地	大阪府泉佐野市りんくう往来南3番4	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	50人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2015年6月1日
敷地面積	6,286 m ²	作成者	株式会社日建設計 中川 雄輔
建築面積	1,091 m ²	確認日	2015年6月2日
延床面積	4,608 m ²	確認者	株式会社日建設計 田中 公康



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	184
②建築物の取組み	138
③上記+②以外の	92
④上記+	46

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 4.2

音環境	3.7
温熱環境	4.3
光・視環境	3.9
空気質環境	4.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

機能性	4.1
耐用性	3.4
対応性	4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.8

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性	4.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.7

建物外皮の	5.0
自然エネ	5.0
設備システ	4.6
効率的	4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 4.0

水資源	4.0
非再生材料の	4.1
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

地球温暖化	3.8
地域環境	3.6
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
最先端のがん治療を行うクリニック。沿岸部における強い恒常風を受け流す円弧状の平面計画。上階に上がるほど庇がせり出していく舟形状の断面構成を採り、2期計画が完成した際には帆船のモチーフが完成する。庇は西日を守るだけでなく、温度差による自然換気を誘発する環境装置として利用する計画。	地業で掘削する土はなるべく敷地内の外構計画で処理し、敷地外で処分を行わない計画。
Q1 室内環境 界壁、内外区画の遮音性能を十分に確保。十分な換気量、空調・照明のゾーン管理を可能とした計画。開口部はLow-Eガラス及び透過率制御ガラスを採用し、高い外皮性能を実現。	Q3 室外環境(敷地内) 空港に隣接し、近隣には大型ショッピングモールがあるなどの敷地特性を配慮し、特徴的な外観計画を採用。大阪府が定める先進医療推進地域のランドマークを目指した。隣接するりんくう公園の緑地を連続させ、周辺環境
LR1 エネルギー 高い外皮性能と同時に高効率で自然エネルギーを直接利用する環境設備計画。BEMSを採用すると同時に、ESPによる運営管理を実施。	LR3 敷地外環境 雨水貯留槽を設けて雨水排出量を抑制。駐車場、駐輪場を十分に設けることで、周辺の交通量負荷に寄与。看板は設置しない計画。
Q2 サービス性能 BIM、CGを利用した外観、内観検討。維持管理しやすい平面計画。電気、ガス熱源の二重化、雨水利用や節水機器採用、電気系のBCP対策。4.5m以上のゆとりある階高で設備更新に配慮。マシンハッチを設置し、大型	
LR2 資源・マテリアル 雨水貯留槽を設けて中水利用。高炉スラグなどの再生材を利用。仕上げと構造が分離したスケルトンインフィルの計画。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0021

Osakafu-新築・既存 2015V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)りんくう出島医療センター					
		建設地	泉佐野市りんくう往来南3番41					
		用途/区分	病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					S		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					5		
	みどり・ヒート アイランド対策					4		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	○	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	5.0	5	
					住戸・宿泊	5.0		
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				5.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.6		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				4.5		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				4.0		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	4	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				4.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				4.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		高い外皮性能と同時に高効率で自然エネルギーを直接利用する環境設備計画。						